

～ 日曜・朝のがっこう ～

# 地震の多い日本で 原発をうごかさないで

## 能登半島地震と志賀原発から学ぶ

新年1月1日午後4時過ぎ、石川県能登半島を震源とする地震が発生しました。停止中の北陸電力志賀原発から、わずか10キロしか離れていない志賀町では震度7でした。原発が稼働していたら恐らく大惨事になったでしょう。

一方、震央となった珠洲市は過去に原発誘致が持ちあがった町。28年間におよぶ市民の運動で原発を誘致させませんでした。もし珠洲原発があったなら福島原発過酷事故以上の事故となっていたでしょう。この地点は地震で海岸線が4メートルも隆起しました。

地震を引き起こした活断層は能登半島の北岸に沿う想定外の未知の断層でした。断層のひずみが連動して動きました。若狭の原発群をはじめ全国の原発周辺には未知の断層が存在しています。

原発震災をなくすには原発をなくすしかありません。

ごいっしょに考えてみませんか。



講師

もりた としや  
守田 敏也さん

(フリーライター)

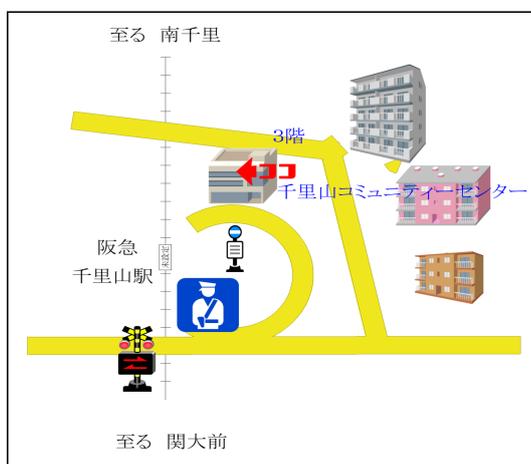
同志社大学社会的資本研究センター客員フェローなどを経て、フリーライターとして取材を続ける。丹波篠山市原子力災害対策検討委員、滋賀県米原の原子力防災を考える市民委員会アドバイザーを務める。

5月19日(日)

午前10時～

千里山コミュニティーセンター  
多目的ホール(3階)

●資料代 500円、お願いします。



主催：お話を聞く会

TEL 090-9160-9320 (山本)